

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

事業名 一般国道285号滝ノ沢バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 秋田県
起終点 自：秋田県北秋田郡森吉町米内沢字滝ノ沢 至：秋田県北秋田郡森吉町米内沢字七曲	延長 5.4 km	

事業概要：
 一般国道285号は、秋田市を起点として森吉町、鷹巣町を経て鹿角市に至る幹線道路で、県都秋田市と県北部地域を最短で結ぶ短絡路線であるとともに、国道7号を補完する路線として、物流ネットワークの形成はもとより観光及び大館能代空港の利活用を支援する機能も有する路線である。
 当該計画区間は、線形不良に加え、幅員狭小のため自動車のすれ違いに困難を極めるほか、急勾配、急カーブが連続しており、円滑な交通の確保に難を呈し、とりわけ冬季には通行困難ばかりでなく、滑走や接触事故が多発している箇所である。
 このため、線形改良と併せて、車道の拡幅及び歩道を設置し、安全で円滑な交通確保と併せて広域的な幹線道路としての機能強化を図るものである。

事業の目的、必要性：
 ・急勾配、急カーブなど交通阻害要因の解消による安全で円滑な交通確保
 ・大館能代空港へのアクセス改善
 ・平成19年秋田国体の支援

全体事業費 65億円	計画交通量 6,300台/日
費用便益比 B/C 2.1	総費用 65億円
事業費 55億円	総便益 136億円
維持管理費 10億円	基準年 平成15年
	走行時間短縮便益：98億円 走行費用減少便益：29億円 交通事故減少便益：9億円

事業の効果等：
 I - (2) 物流の効率化の支援 ----- 最寄りの空港へのアクセスが改善する
 II - (3) 地域づくりの支援 ----- 対象区間に大型車すれ違い困難区間が存在する
 ----- 2次生活圏中心都市と役場の所要時間が30分を越える
 ----- 平成19年秋田国体を支援する
 IV - (1) 道路の防災対策・危機管理の充実 -- 災害による1～2箇所の道路寸断で孤立する集落が存在
 ----- 緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけ（第2次）

関係する地方公共団体等の意見：
 森吉町をはじめとする関係1市6町1村の首長及び関係団体で構成されている大館市・北秋田郡道路利用者会議より滝ノ沢バイパスを含む国道285号の整備促進の要望（平成14年3月18日）を受けている。

